

# 卵巣明細胞腺癌の発癌と特異的な呼吸代謝を標的とした治療に関する研究のお知らせ

帝京ちば総合医療センターでは以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

**研究期間：2019年11月8日～2022年3月31日**

**〔研究課題〕** 卵巣明細胞腺癌の発癌と特異的な呼吸代謝を標的とした治療に関する分子病理学的研究

**〔研究目的〕** 本研究は、卵巣に発生する腫瘍の一つである明細胞腺癌に特異的な呼吸代謝のメカニズムを解明し、これを標的とした新たな治療法を開発することを目的とします。

**〔研究意義〕** 卵巣には異所性の子宮内膜がみられることがあり、これらは内膜症性嚢胞とよばれています。内膜症性嚢胞には2種類の悪性腫瘍（類内膜腺癌と明細胞腺癌）が発生することがあり、中でも子宮に発生することが稀な明細胞腺癌の発生頻度が高いことが知られています。われわれは低酸素性のストレスにさらされた内膜症性嚢胞の上皮がこれに耐性の性質を獲得することが原因ではないかと考え、耐性を誘導する特異的な呼吸代謝のメカニズムを解明し、これを標的とした新たな治療法を開発したいと考えています。

**〔対象・研究方法〕** 2001年1月から2019年8月の期間に当院で卵巣・子宮の外科的切除を受けた患者さんのうち、子宮内膜症、卵巣内膜症性嚢胞、子宮体癌、卵巣癌等の症例（約200例）の病理組織標本を用い、呼吸代謝に関連するタンパク質や遺伝子の発現を調べ、明細胞腺癌に特異的な呼吸代謝のメカニズム明らかにします。研究にはこれまでに手術で取り除かれ病変部の病理診断を行うために作成された標本を用います。対象となる患者さんに新たに負担をお掛けすることはありません。

**〔研究機関名〕** 帝京大学ちば総合医療センター 病院病理部

**〔個人情報の取り扱い〕** 当院は、ヘルシンキ宣言および臨床研究に関する倫理指針に則り、患者さんの人権を守るよう配慮して研究を行います。取り扱うデータは対象となる患者さんの、カルテ番号、年齢、診療情報（診断名、病状や治療期間、治療効果等）を使用し、お名前や住所、電話番号などが使用されることは一切ありません。

**対象となる患者様が検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。**

**ご協力よろしくお願ひ申し上げます。**

## 問 い 合 わ せ 先

研究責任者： 帝京大学ちば総合医療センター病院病理部教授 山崎一人

研究分担者： 帝京大学ちば総合医療センター産婦人科病院教授 五十嵐敏雄

帝京大学ちば総合医療センター産婦人科助教 富尾賢介

住所： 千葉県市原市姉崎 3426-3 TEL： 0436-62-1211(代表) [内線 1263]